

韓国・檀国大学大学院からの特別聴講生 李英淑さんに聞く 中世キリシタンの語彙研究 林義雄教授のもとで充実の研究生活を送る

大学院文学研究科の特別聴講生として、今年3月から専大に学んでいます。

指導教授は林義雄先生。研究テーマは「中世のキリシタン文献の語彙研究」で、当時の文学作品や現代語と比較しながら研究を進めています。日本の中世におけるキリシタンの言葉を書物から調べ、その特殊性を探り、どのように変化しているか、現代も存在しているかを一つひとつ調べていくと新たな興味深い発見があります。このテーマでは第一人者の林先生のもとで、ゼミナールにも参加し、充実した研究生活を送っております。

日本滞在は1年間の予定でこれまで短期間の訪日は何回もありましたが、長期滞在は初めてのことです。

#### ■ 日韓両国の橋渡しを

韓国では、専大の国際交流協定校である檀国大学大学院日語日文学科博士課程の3年次に在学中です。以前は大学の講師として日本語を教えていましたが、さらに日本の古典の研究を深めようと博士課程に進学しました。

私が日本語を学んだ大学・大学院(修士課程)時代は80年代前半で、韓国が軍事政権から民主国家に変わる過渡期でした。当時、日本との関係は決して良い状態ではなく、韓国国内で日本語を専攻しようという人はまだまだ少数でした。しかし、隣国である日本との連帯は大切なことと思い、過去の歴史的背景を乗り越えて、両国の橋渡しとしての役割を担いたいと心に決めたのです。

日本と韓国との関係は大きく進みました。今年、日韓共催サッカーW杯が成功し、韓国で日本語を学ぶ学生は急速に増えています。昨今の両国の若者の考え方に接していると隔世の感を覚えます。

好きな小説は、古典以外では「沈黙」(遠藤周作)と「雪国」(川端康成)。いつか「雪国」の舞台である越後を訪ねたいですね。

もちろん、韓国が恋しくなる時もありますが、さまざまな国の人が滞在する国際研修館での生活は毎日が刺激的。今夏、念願のホームステイと富士登山を体験しました。日本一の富士登山はかなりきつかったです。それだけに、山頂に立った時の達成感言葉にならないほどで「日本での研究も必ず成功させたい」と決意を新たにしました。

[11月15日/ニュース専修14面]

## 県人会 北から南から 新潟県人会 座談で気楽な雰囲気 毎年、県内あちこち散策



新潟県人会の“ボックス”(生田会館2階にある各県人会ごとのスペース)には机や椅子がない。会員たちは床にマットを敷き、ローテーブルを置いて、くつろぎ談笑している。

殖栗直人会長(経済2・新潟県長岡大手高)はそんな会の様子を「マイペースな人が多く、まとめるのは大変ですが、上下関係のない気楽な雰囲気の会です」と話す。現在、会員は約50人で、県内出身者が半数を占める。

鳳祭では、チロリン村の入り口に“おしるこ”の屋台を出店した。2年次生を中心に、前日に屋台を組み立て、期間中は10時から16時まで開店。「朝は準備のため9時に集合。通学に約3時間かかる会員もいますから、大変だったと思います。今年は雨にも降られ、天気に悩まされましたが、多くの会員が参加して盛り上げ、より親睦が深まったと思います」と殖栗会長。

今後は、夏合宿と並ぶメイン活動である春合宿を妙高高原・杉の原で、来年2月5日から8日まで行う。毎年県内あちこちを散策する。今年は約20人で苗場スキー場を訪れた。「初心者も含めた全員で頂上へ行き、会話しながら滑り降りた時は、怖がる人もいましたが、楽しかったですね」と中西忠善くん(経営3・新潟県巻高)は感想を話した。

体を動かすことが好きな会員が多く、普段はサッカーやボウリングなどを楽しみ、連合県人会主催のスポーツ企画にも積極的に参加している。「私はみんなでやるサッカーが楽しくて入会したんです」と殖栗会長。「まだ会長になったばかりで慣れないことばかりですが、みんながもっと自由に活動出来るような会にしたい」と抱負を語った。  
(写真は今年の鳳祭・おしるこの出店で)

[11月15日/ニュース専修14面]

## 健康フラッシュ もう冷え症に悩まない！

これからの季節、手足や腰が冷えてつらいという人も多いのではないのでしょうか？ 冷え症とは体の末端部分で血行が悪くなっている状態のことをいい、大きな原因として自律神経失調プラス外的要因が挙げられています。あなたはきつめの衣服を身につけてはいませんか？ また室温と外気温の差が5℃以上になってはいませんか？ ちょっとした対策で冷え症は克服することができます。

ここで、自分で簡単にできる『冷え症対策』をお教えしましょう

### ①『冷え症撃退入浴法』

低温で長時間を基本に、半身浴・薬草浴・部分浴など、積極的に取り入れましょう。

### ②『運動で冷え症を撃退』

ウォーキング、ストレッチ、水泳など、ライフスタイルに合った運動を毎日続けて、血行をよくしましょう。

### ③『おいしく食べて体の中から温める』

ビタミンE(ナッツ類、鰯、かぼちゃ、ほうれん草など)を油と一緒に摂ると血行がよくなります。毎日たっぷり摂りましょう。

### ④服装で冷え性を改善

素材はニットやシルクがおすすめ。軽くて体温を逃がさない、ゆったりした服装で外出しましょう。

### ⑤『ぼかぼかぐっすり快眠』

基本は頭寒足熱。天然素材のパジャマを使用し、頭を温め、高くして寝れば快眠効果も◎。

その他、ツボマッサージも効果的です。自分のつぼを探してみましょう。

是非試して、つらい冷えを乗り切りましょうね。(保健室)

[11月15日/ニュース専修14面]